

平成 18 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社システムソフト
 代表者名 代表取締役社長 吉 尾 春 樹
 (J A S D A Q ・ コード 7 5 2 7)
 問合せ先 執行役員管理部長 緒 方 友 一
 T E L 0 9 2 - 7 1 4 - 6 2 3 6

平成 18 年 3 月期通期業績予想の修正について

平成 17 年 10 月 25 日付当社「平成 18 年 3 月期中間決算短信（非連結）」において発表いたしました平成 18 年 3 月期通期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期通期業績予想の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日） （単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	1,250	50	640
今回修正予想（B）	1,102	△66	519
増減額（B－A）	△148	△116	△121
増減率（％）	△11.8	－	△18.9
（ご参考）前期実績	1,313	△238	△1,594

2. 修正の理由

最近の業績の動向を踏まえて、平成 17 年 10 月 25 日に公表した平成 18 年 3 月期通期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想を売上高 1,102 百万円、経常利益△66 百万円、当期純利益 519 百万円と修正いたします。

売上高につきましては、大手通信事業者向け S I 事業において、仕様確定が遅れ、計上が次期へずれ込んだこと、ならびに新たに計画している不動産ポータルサイトの開発のため既存事業から要員を異動させたことによる売上減等が主な要因で、予想を 148 百万円下回る見込みであります。

利益面につきましては、売上減による減少に加え、不動産ポータルサイト立ち上げへの先行投資的費用の発生、既存事業における開発要員異動に伴う引継ぎロスの発生などが要因で、経常利益は予想を 116 百万円下回る見込みであります。また、今後の事業拡大と有利子負債返済のため行った第三者割当増資による新株発行費 16 百万円、金利スワップ契約の中途解約に伴う費用 12 百万円、東京センターの移転に伴う費用 5 百万円等の特別損失の発生により、当期純利益は予想を 121 百万円下回る見込みであります。

なお、当社は当期（平成 18 年 3 月期）から連結決算を実施いたしますが、当期は期末日が連結子会社の支配獲得日となり、財務諸表のうち貸借対照表のみが連結対象であるため、連結業績予想の修正については該当事項はありません。

以 上